



教授 / 博士 (工学)

多米 淑人

Yoshihito Tame

学歴

福井工業大学工学部建設工学科建築学専攻、福井工業大学大学院工学研究科修士課程、福井工業大学大学院工学研究科博士後期課程

経歴

福井工業大学助教・講師・准教授、FUT福井城郭研究所副所長、平成27年度ふるさとづくり大賞内閣総理大臣賞、第7回地域再生大賞東海・北陸ブロック賞、平成29年度福井元氣ふるさとづくり活動賞最優秀賞受賞、平成30年度日本建築学会北陸支部「北陸建築文化賞(業績)」

相談・講演・共同研究に応じられるテーマ

民家や社寺などの伝統的建造物の調査、若狭地方の神社建築の講演、勝山市北谷町小原の古民家修復活動の講演

メールアドレス

tame-yoshi@fukui-ut.ac.jp

主な研究と特徴

「近世建築図面の作図目的と過程に関する研究」

日本建築史の分野では、指図(平面図)や建地割図(立面および断面図)などの建築図面は旧来の建築形式や様式などを考察・研究する上で貴重な史料としてよく用いられているが、これらの建築図面は作図目的や意図、年代、作者などについて明らかでない場合が多い。

本研究は、近世の建築図面の中でも特に意匠や高さ関係を示した建地割に着目し、その作図目的や作図用途を明らかにしつつ、建地割図と既存建築の共通点や相違点の抽出を行ない、両者の関連性を見出すことによってその作図過程・方法を明らかにする目的とする。これによって、これまで一史料としかみられていなかった、建築図面の重要性について再認識するとともに、同一建物の建築図面が複数ある場合はその内容を精査することによって、建築経緯や再建前の様相、近隣建築との関係性も読み取れ、また、本研究成果により現状の建築図面の在り方についても議論・検討していくきっかけとなると考えられる。

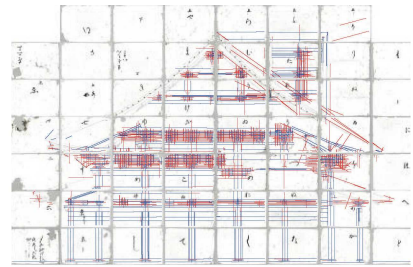


図1. 「円覚寺仏殿地割図」にみられる筧引(料紙色調加工)

「神社の拝所にみる礼拝空間の基礎研究」

全国的に神社における参拝者の礼拝空間は、拝殿が一般的であり、人(参拝者)は神(本殿)と比較的離れた距離で参拝していることになる。しかし、福井県若狭地方や京都府、滋賀県などには本殿の前に近接してたつ拝所と呼ばれる社殿で参拝する事例が多くみられる。これらの地域においては、人(参拝者)は神(本殿)の直前で参拝することができ、人と神との密接な関係性が窺え、拝所が神社を構成する上で重要な社殿であると位置付けることができる。本研究は、このような重要な礼拝空間である拝所に主眼をおいて研究することにより、時代的、地域的な礼拝空間の変化を把握でき、これらによって建築文化の波及や伝播状況、社殿からみた神と人との関係性を解明することを目的としている。さらに、これまで明確に示されていない建築文化圏の指摘もできると期待できる。

そもそも、古来より若狭地方は若狭街道(鯖街道)や丹後街道などで現在の京都府や滋賀県との交流・物流があり、現在においても方言などに類似性がみられ、文化の往来を窺うことができる。しかし、建築分野においては明確な伝播状況や波及については研究されていないのが現状である。本研究は建築文化の伝播状況や波及について、神社建築の中でも特に拝所に着目しその解明を試みるものである。



図2. 常宮神社本殿および拝所

今後の展望

日本建築史の分野の研究対象である建物や建築図面は、実際に観て、触れることができるものが多々ある一方、解明されていないことも数多くある。例えば、建築図面に関する研究を行なう場合は、建築図面の存在は史料集や報告書などで周知されているものの、これらに掲載されている図版では、本研究で必要とする小さな針穴や目視も困難な筧引は確認することができない。そのため、所蔵元に赴いての詳細調査を行ないつつ、高解像度の写真撮影を行なう必要があり、並行して図面に描かれた建物の計画から竣工までの過程を精査する文献調査も実施することも重要である。また、社寺や民家などの建築調査においても現地での実測や痕跡調査などの詳細調査が必須で、こちらも同時並行で聞き取りや文献調査を行う必要がある。

このように、本分野の研究では、現地へ赴いての実地調査が必要不可欠で、その調査自体も図面や建物の現物の調査だけでなく、古文書を読み解く文献調査も重要である。このような地道な研究を継続することによって、建築図面の重要性を再認識し、またこれまで明確に示されていない建築文化圏を解明していきたい。

所属学会

- 一般社団法人日本建築学会 (2003年～現在まで)
- 北陸都市史学会 (2009年～現在まで)
- 文化財建造物保存修理研究会 (2015年～現在まで)

主要論文・著書

- 多米淑人：山間集落の再生・活性化に向けた実践研究～福井県勝山市小原集落の事例～、北陸都市史学会誌No.25, pp.27-31, 2019.8
- 『越前海岸の水仙畑文化的景観保存調査報告書』、丸山宏・多米淑人・他4名、福井県・福井市・越前町・南越前町, 2019.3
- 『丸岡城総合調査報告書』、吉田純一・多米淑人・他13名、福井県坂井市教育委員会, 2019.3
- 『庄宿一伝統的建造物群保存対策調査報告一』、大場修・多米淑人・他7名、福井県南越前町観光まちづくり課, 2019.3
- 『姫路城の「真実」』、中元孝迪・多米淑人・他11名、神戸新聞総合出版センター, 2019.9.30